

広島県安芸高田市の神楽

全国各地に、さまざまな形の神楽が伝えられているなかで、安芸高田市の神楽は、出雲流神楽が石見神楽を経て、江戸期にこの地域に伝えられたと考えられます。また、その過程で、九州の八幡系の神楽や高千穂神楽・備中神楽、さらに中国山地一帯に古くから伝わる農民信仰などの影響を受けて、現在の形態になったといわれています。その特徴は、演劇性が高いという点で、極めて大衆的でのびのびした伝統芸能に発展しました。現在では市内に22の神楽団が神楽を舞い、舞人たちはその技を磨いています。ほぼ年間を通じて、神楽にいそしむ団員たち。そのせいか「神楽で食べているの?」とよく聞かれますが、団員にとって神楽はあくまでも「祭事」。職業ではありません。日常は各々、仕事や勉学に励み、神楽の継承と保存に大きな役割を担っています。



この大衆化が、人々の神社・神に対する信仰心を繋ぎ止め、自然や神への畏敬・恩恵に対する先人の心を今に止める大きな役割を果たしているといえます。安芸高田市の神楽には、劇化の進展のなかにも、神人和楽という神楽の原形が息づいているのです。

百万一心で伝える ひろしま安芸高田神楽

神楽の守り人 安芸高田22神楽団

安芸高田神楽協議会 事務局 ☎0826-47-4024

広島県の北部に位置する安芸高田市は、戦国の武将 毛利元就の故郷です。この地では、古くから伝統芸能としての神楽が盛んに伝承され、「ひろしま安芸高田神楽」という他にない独自の神楽のブランドに成長いたしました。きわめて演劇性が高くスピード感にあふれ、一年を通して多くの人々が鑑賞に来られるまでになりました。私達は今、毛利元就の遺訓「百万一心」の心意気で、我が故郷の誇りである「ひろしま安芸高田神楽」を大切なおもてなしのコンテンツとして地域を挙げて取り組んでおります。“自然よし、人情よし、神楽よし”の安芸高田市。是非一度「ひろしま安芸高田神楽」をご覧ください。

ひろしま安芸高田神楽

神楽上演日程表

2026

保存版

令和8年

4/3

～

令和9年

3/28



安芸高田神楽協議会合同神楽団「紅葉狩」

ひろしま安芸高田ふるさとグルメ

元祖 夜叉うどん

鬼より辛い

OK!広島! 推し食グランプリ

広島県民が選んだ 広島県の食の新たなヒーロー

「夜叉うどん」グランプリ受賞



- マイカーにて P 無料駐車場300台完備
中国自動車道 高田IC ~ 現地・美土里町 約7分
- バスでお越しの方
中国自動車道 高速バス「美土里バス停」下車「美土里バス停」から無料送迎あり【要予約】詳しくはお問い合わせください。

グループ・団体の送迎はご相談ください。



神楽門前湯治村

かぐらもんぜんとうじむら

ご予約・お問い合わせは TEL 0826-54-0888 (代)

広島県安芸高田市美土里町本郷14627 FAX 0826-54-0288

湯治村 とうじむら

検索



阿波おどり振興協会とのコラボレーション



地域の伝統芸能「神楽」を応援しています

安芸高田市 安芸高田神楽協議会 神楽門前湯治村

EXPO 2025大阪・関西万博「Resolution of LOCAL JAPAN展」安芸高田神楽協議会合同神楽団より